

(1) ポータルサイト事業 ～③ 施設運営者による情報更新・共有システム～

○ 圏域内の施設運営者がイベント情報などを随時更新し共有できるシステムについて、構築と普及宣伝による立ち上げを支援

■ ポータルサイトに掲載する、各種主体ホームページの更新情報や観光施設等における最新のイベント情報

新着情報・トピックス	最新イベント情報
<p>2007年02月19日 New!! 「緑結びドライブなび」作成記念キャンペーン (2月25日～3月29日)</p> <p>2007年02月19日 New!! 「南部町」とっとり花回廊 クロッカス4万球が満開! ひと足お先に“春”のデコレーション</p> <p>2007年02月16日 【松江・米子】いよいよ梅の花が見ごろです。訪れる春を前に、しばし冬の名残を楽しんでみませんか</p> <p>2007年02月16日 【安来】足立美術館 無料シャトルバス 3月18日～のダイヤ改正でさらに増便! 1日8往復に</p> <p>2007年02月16日 【大山】大山トムソーヤ牧場 世界最小ミニ豚の赤ちゃんが誕生!</p> <p>2007年02月12日 【松江】松江フォーゲルパーク ベンギン・コクチョウのヒナが誕生!</p> <p>2007年02月16日 【鳥取・北栄町】「名探偵コナン」もお出迎え? 「青山剛昌ふるさと記念館」3月18日ランドオープン!</p> <p>2006年12月28日 サイトを巡って山陰ゆかりのキーワードを探せ プレゼントキャンペーン第2弾で豪華賞品をゲット!</p> <p>2007年02月13日 緑結びに纏わるナン・噂を検証!! 緑結び観光協会発「緑結び同」が行く! ページが女性の間で話題に</p> <p>2007年02月12日</p>	<p>2007年02月16日 【出雲】宍道湖自然館ゴビウス “ドクターフィッシュ”で手のひらエステ (～4月16日)</p> <p>2007年02月16日 【出雲】ズワイガニ1杯に、各種食べ放題・飲み放題付きで3000円 鳥根ワイナリー 創立20周年サンクスフェア開催中 (～3月31日)</p> <p>2007年01月11日 【出雲】日御碕神社 和布刈神事 (2月22日)</p> <p>2007年02月10日 【松江】松江市営バスで行く“緑結びモニターツアー” (2月23日)</p> <p>2007年02月16日 【鳥根・津和野】新酒発表会、郷土料理の試食、料理・菓子の展示etc. 津和野 あがみ祭開催 (2月24日・25日)</p> <p>2007年01月25日 【南部町】とっとり花回廊 らんまつり (2月24日～3月4日)</p> <p>2007年02月19日 【松江】第30回本物を作る教室(灯ろう教室) (2月25日、3月4日・11日)</p> <p>2007年02月16日 【出雲】宍道湖自然館ゴビウス 企画展「福東アジアの淡水魚」 (2月28日～4月16日)</p> <p>【境港】宍道湖vs中海 七珍対決 (3月4日)</p> <p>2007年02月19日 【松江】鳥根県立美術館 企画展「ルソーの見た夢、ルソーに見る夢」 (3月9日～5月6日)</p>

- ・ ポータルサイトには、圏域内のイベント情報などが多く集約する必要があるが、ポータルサイト運営者側から情報を収集して掲載。経常的に労力負担が大きい。
- ・ 個別のホームページの更新にあわせて自動的にポータルサイトに情報が送られてくる機能 (RSS 機能) を設置しているが、圏域内の観光施設等で対応しているホームページはごくわずか。

・ 容易にイベント情報を提供

- 情報提供システムの構築支援
- 中間支援組織としての宣伝・参加呼びかけ

- 参加登録者
 - ・ 行政担当課・職員 (鳥取県、米子市、出雲市、江府町)
 - ・ 観光協会 (米子市、境港市、松江、大山町)
 - ・ 観光案内所 (境港市、大山町)
 - ・ 宿泊施設関係者 (米子市内×2、松江市内、伯耆町内)
 - ・ 米子市内放送局
 - ・ NPO関係者
 - ・ 旅館組合関係者
 - ・ 観光施設関係者
 - ・ 各種協議会関係者 など、約30団体、約50名 (現在も参加呼びかけ中)

パイロット事業を通じた関係者の意見・課題等

- 中間支援組織という名前の中で、県境等を意識しないで広い範囲で登録呼びかけに行くことができた。
- 登録後も、施設管理者等による情報更新・参加を促していくために、協力の効果を示しながら、システムの意義・効果について継続的に働きかけていくことが必要である。

成果

地元での取り組みにより深く関連するもの

- 個別施設運営者の投稿によるポータルサイト運営者の負担の軽減・分散化が期待される
- ポータルサイトが充実し、イベント情報が随時更新されていくことが期待される

中間支援組織のあり方に関連するもの

- 発信する情報内容の充実と、事業を無理なく継続するための運営者の負担の軽減の両立が必要。このためには多数の主体の参加による労力の分散化が不可欠であり、そのためには中間支援組織の有する人的ネットワークが効果的に機能

今後の課題・期待される取り組み (継続して検討)

- 施設運営者の情報更新・共有システムへの参加拡大
- 時間をかけた宣伝活動、施設管理者の労力負担の軽減化等の課題の改善

(1) ポータルサイト事業 ～④ 市民投稿システム～

- 市民(圏域内外)が自由に投稿できるシステムを構築し、相互交流を促しながら圏域全体の活性化を図るとともに観光資源を発掘
- 既に 100 件以上の投稿があり、情報交換も行われている

■ 「みんなで!山陰」の概要

携帯電話から投稿できる (場所のプロットも可能)

パソコンから投稿できる (場所のプロットも可能)

自分のブログを登録できる

記事に返信・コメントできる

■ 投稿記事に対するやり取りの例

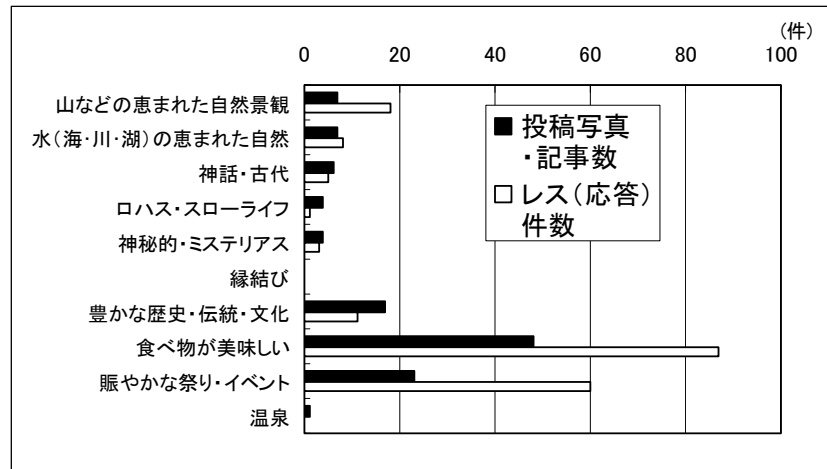
■ 投稿状況 (3/11現在。仮想中間支援組織調べ)

- 投稿記事数 : 172件
 - 食べ物おいしい : 48件、賑やかな祭り・イベント : 23件、豊かな歴史・文化・伝統 : 17件 (店舗・商品等紹介 (祭り・イベント紹介) (歴史・文化紹介))
 - ・レス(応答)あり : 97件、地図情報あり : 41件
 - ・ブログ登録 : 34記事

■ 活動・撮影場所を地図で表示した例

■ 投稿内容の分析

市民投稿サイト「みんなで！山陰」へのテーマ別投稿情報件数（2/3～3/11、38日間）



中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織調べ

→ 市民の関心は「食べ物」「祭り・イベント」「歴史・伝統・文化」「自然」の順に高い。特に「食べ物」「祭り・イベント」「自然景観」情報については応答件数が多いことから、地域間交流の促進に向けては、このような情報を適切に配信することが有効。

■ 市民投稿サイト「みんなで！山陰」の収益確保の可能性の検討

	2/27 (開設 25 日間)
トップページアクセス数	7,898 件

■ 各種サイトの広告料金

サイト運営者	広告料金	バナーサイズ等	(参考) アクセス数
松江市役所	15,000 円/月	W120×H60 ピクセル 5つの広告あり	トップページアクセス数 約 5.6 万件/月
中海テレビ	8,400 円/月	W120×H60 ピクセル 1つの広告あり	トップページアクセス数 約 6 万件/月
山陰ホームページ ナビゲーター	31,500 円/3ヶ月 (=10,500 円/月)	W200×H50 ピクセル 7つの広告あり	平均ページビュー※ 約 1,500～4,000/日 (4.5 万～12 万件/月)
日本海新聞	10,500 円/月	W120×H60 ピクセル (より大きいサイズあり) 10以上の広告あり	ページビュー※ 約 12.6 万件/月
山陰中央新報	31,500 円/月	W130×H50 ピクセル (より大きいサイズあり) 10以上の広告あり	ページビュー※ 約 450 万件/月

※ トップページのみならずサイト内の全てのページの閲覧総数をいう。
各ホームページ等より中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織調べ

サイトによって差はあるものの、1団体あたり
おおむね1万円/月の広告料が見込める

**10団体の広告が確保できれば、
年間120万円の資金確保が可能**

パイロット事業を通じた関係者の意見・課題等

- 携帯電話からの投稿やお店の情報なども投稿可能とし、応答があったことを通知してくれる機能など、気軽に利用・参加できるシステムの構築により、多くの市民が参加。
- システム構築だけではなく、両県や市町村、商工会議所等の組織や、事務局スタッフ等の既存ネットワークを利用して広範に宣伝したことも重要であった。
- ページ閲覧者が多いことから、中間支援組織の収益事業の可能性が確認でき、現に、次年度以降の運営協力に意欲的な団体も現れている。
- 投稿情報を整理した結果、市民の応答・交流を促すためには「食べ物」や「祭り・イベント」をテーマにするとよいことが把握でき、今後の地域振興にあたり参考とできる。
- ただし、現在のシステムは地域振興を誘導できる仕組みではないため、コーナーを設けるなど改良が必要。今後、行政から助成を受けながら進める動きが芽生えている。

成果

地元での取組みにより深く関連するもの

- 市民が体験したことを自由に投稿でき、共有できる場がインターネット上に設置
- 観光・交流を促す生活レベルの各種情報を収集
- 市民・各種活動団体が活動内容や体験の紹介・共有
- 市民投稿システムの運営の継続
- 安全安心マップや市民活動促進など、様々なテーマでの本システム活用の可能性

中間支援組織のあり方に関連するもの

- 中間支援組織は、多様な主体が自ら発信する情報を活発に交換できる場を提供し、これを管理する役割を担うことが重要
- 中間支援組織が自ら情報を収集・発信する機能としてポータルサイトを保有することも考えられるが、情報収集には多大な労力と経費が必要となるため、市民投稿システムのように多様な主体が個々に情報の収集・発信を行い、それを共有できるシステムを構築・運営することが情報基盤の充実につながる
- 中間支援組織の継続運営のための収益確保が期待できる

今後の課題・期待される取組み (継続して検討)

- 参加意欲の維持・向上に向けたしくみづくり (特派員への昇格システム、企業の協賛によるアワード(表彰)など)
- 宣伝方法の充実・積極的な営業活動 (小学校の地域学習教材としての売り込み、参加実績値を使った宣伝等)
- 機能拡張 (1) 地域振興に向けた市民活動の充実・交流を促すしくみ、2) 店舗やタウン系サイトからの自動投稿システムを構築(RSS)、3) バナー等収益事業としての発展)
- 集めた情報を整理・分析し、情報基盤として活用

